



りすぐみだより 9月

尚徳福祉会 とちょう保育園



毎日暑い日が続いていますね。そんな中でも、りす組の子どもたちは元気いっぱい。室内でたくさん体を動かしたり、ままごとや電車など夢中になって楽しんだりいろいろな姿を見せてくれます。水遊びでは、始めは環境や雰囲気慣れず、保育士にしがみ付いたり、近付こうとしなかったりする姿が見られた子もいましたが、友だちや保育士が楽しんでいる姿を見ると少しずつ興味を示し、自分からタライに近付いたり、水に触れたりする姿が…今では「みずあそび、やるの?」と嬉しそうに聞いたり、カップやシャベルを使い水をすくったり、バケツに移し入れたりするようになりました。日に日に遊び方もダイナミックになり、成長が感じられる今日この頃です。

夏が過ぎると今度は秋です。大好きな散歩に出掛け、季節の訪れと一緒に感じながら体を動かしたり、植物に触れたり、いろいろな遊びを楽しんでいきたいと思います。



♪親子ふれあい会♪

日時：10月5日(土) 10:00~11:30

場所：りす・うさぎ組保育室、ホール

内容については、手紙や次月のおたより等で詳しくお知らせします。

(自由参加です)



【9月の目標】

- こまめに汗を拭き、水分補給をしていく中で快適で健康に過ごす。
- 保育者を介して他児に興味を持ったり、一緒に遊ぶ事の楽しさを感じる。

友だちへの興味が高まってきた一方で、関わり方が分からなかったり、自分の思い通りにいかなかったりでトラブルになってしまう事も…保育士も一緒に遊びを楽しみながらその中で友だちへの関わり方を伝えたり、やり取りを知らせたりし、一緒に遊ぶ事の楽しさを共有していきたいと思います。優しく関わる事が出来た時には大いに褒め、自信へと繋げていきたいと思えます。

“自分で出来るよ、ひとりで出来た”

着替えやトイレ時の着脱などで自分でやってみようとする真剣な姿が多く見られるようになりました。高月齢児の中には「ひとりでやる。」と言いながら、最後まで自分で行なおうとする姿も…。何でも“じぶんで!”と訴える今の時期、子どもたちのやりたいという気持ちをしっかり受け止めていく事が大切です。うまく出来ない所をさりげなく手助けしたり、着脱しやすいよう床に衣服を広げて用意しておく、「できたよ。」「はけたよ。」と満面の笑みで教えてくれたりします。そんな高月齢児の姿を見て、低月齢児の子も保育士と一緒に腕や足を通そうとしたり、途中まで下ろしてあげると最後は自分でやってみようとしたりと意欲的です。子どもたちの気持ちを大切に一人ひとりに合った関わりを心がけていこうと思います。

☆衣服について☆

自分でやってみようとする姿が増えてきたので、衣服は一人でも着脱しやすいものをご用意ください。(すこしゆったりしたものの方が着やすいです) また、自分で選んだり、取り出したりするようにもなってきたので、棚の中は詰め過ぎないように、よろしく願います。(入りきらない分はホールにある保護者ロッカーをご利用ください)

